

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	学童クラブそよ風		
○保護者評価実施期間	2026年1月16日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年1月16日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しく活動できている。	集団作りを大切に、集団の中での過ごし方、基本的に個別の活動を好む子どもでも、その自由な活動を大切しながら、その中で集団を感じられるように取り組んでいます。	空間の有効利用、遊具などの更新、発達に合わせた集団活動、集団作りを工夫していきたいと思います。一方で通所を嫌がっているという意見もありました。この機会に把握するのではなく、全員が楽しく通所できるように利用児童の気持ちに寄り添う支援、保護者の困り感を発信しやすい体制作りを進める。
2	活動内容が固定化されないように工夫している。	ある程度、固定化された方が安心感がある児童もいますが、その中でいろいろなイベントや活動を職員が工夫して取り入れてくれていると思います。	固定化することで安心して活動できる部分を大切にしながらも、季節ごとのイベント等で変化させながら楽しく通所できる施設を作っていく。
3	職員間でしっかりモニタリングを行いながら、今、必要な支援を提供している。	職員間で支援方法について共通理解ができるように会議等を行っている。	さらに共通理解が得られるようにPDCAサイクルを職員がしっかり意識しながら個別支援計画のもとに支援を行っている。一方で職員によって対応が違うという意見もあり、共通に認識を図りながら、それを支援に落とし込んでいけるように丁寧なモニタリング、支援者の質の向上を図りたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの安全の確保	こどもの安全については留意しているが、今回の評価で「少し不安に感じながら預けている」という意見を重大な課題として考えていく必要がある。	どんなことでもいいのでヒヤリハットを積み重ねていくことを大切にする。そして、適切な場でも言い合える職場環境を作り、それらを踏まえての安全についての話し合い。また、不安なことを具体的な声として届けてもらうために相談などをしやすい環境整備を行っていく。
2	保護者会など保護者と繋がる機会が少ない。	保護者会が昨年1回開催したが、今年度はできなかった。送迎時に話しているが、それ以外では面談しか話す機会がなく、相談、助言などを求める機会が少ない。	保護者会の定期的な開催。ペアレントトレーニングを意識した研修等の開催など保護者とつながる機会を増やしていくことで相談などがしやすい環境を作っていく。苦情受付BOXはあるが、苦情などではなく気軽に意見がもらえる体制・機会作り、HPの活用なども含めて改善したい。
3	地域に開かれた施設	地域との交流はほとんどないのが現状である。	委員会等、様々な施設運営に地域の人材の参画を考えていく。その中で地域との交流の機会を増やしていけるようにする。地域のイベント、直接的な交流は難しくても作品の展示など地域イベントに積極的に参加していく。